

(INDEX)

<川崎 環>

神戸市はどうなる？市長選を目前にして (2017.10)

人口減少=超高齢社会と AI(エーアイ) (2018.6)

ニュータウンはオールドタウンに (2018.7)

感染症にくわしい専門家、だれを信用したらいい？ (2020.10)

注文の多い料理店二〇二〇 (2021.8)

忘れ物が返ってくるニッポン (2023.12)

落とした小銭入れが奇跡の生還、今度は自力で (2024.3)

神戸市はどうなる？市長選を目前にして (2017.10)

川崎 環 (美賀多台)

3月末に定年退職し、ニュータウンの暮らしにとけ込み始めた川崎です。7月の県知事選挙に続いて、10月は神戸市長選挙です。自治体のトップを選ぶ首長選挙は、私たちの暮らしに密接に結びついているにも関わらず、低調で投票率も上がりません。今回は、突然ですが衆議院が解散し、総選挙が同日に行われることになったので多少投票率は上がるでしょうが。



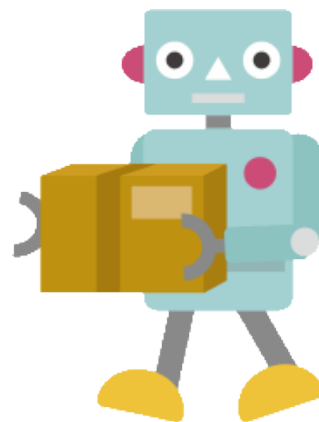
私自身は灘区で生まれ、垂水で育ち、名谷を経て西区に転居、ずっと神戸市民です。その神戸は変わってしまった。私が子供の頃は神戸港が国際的にも有数の港で、日本の貿易を支えている、と習ったものですが、阪神淡路大震災以降は取扱貨物量も回復していない。一方で今も北野町の異人館は観光客でけっこう賑わっているようですし、「神戸」というハイカラブランドの集客力は健在かもしれません。しかし、バブル崩壊～大震災を経て、日本全体としてもそうでしょうか暮らしや経済が上向いているとは感じられない閉塞感に満ちています。映画館がありたくさんの店と客がひしめいていた新開地、家族連れが訪れていた須磨浦公園など見る影もありません。

今回の市長選挙でも、人口減少を食い止め、街の活性化を図るかがひとつの争点ですが、さらに少子高齢化はすすむでしょう。傾向として人口減少が避けられないもとので、従来型のハコモノ事業で街はどうなるのか？高齢者の比率が高まり、若者は少なくなる。デカイ商業施設ゾーン(たとえばイオンモール)作って便利になるの？といった疑問がわいてきます。市長選の結果がどうあれ、10年後、20年後、私たちの街・神戸はどうなっているのか？私は、たぶんまだ生きていますのでしっかり見届けたいと思います。

人口減少=超高齢社会と AI(エーアイ) (2018.6)

川崎 環 (美賀多台)

人口減少社会の影響が懸念されている。NHK スペシャル等でも生産年齢人口の減少で移民を受け入れる自治体のとりくみが紹介されていた。私も「未来の年表」(講談社現代新書)を買って読んだ。東京オリンピックの2020年には女性の2人に1人は50歳以上、2024年には3人に1人が65歳以上になるという。昨年定年退職し、この春はフィットネスクラブの「コスパ」に入会したが、高齢者の多いこと。



さて、何が問題か？高齢者の増加=労働力の減少のようだが、すでに高齢者を働かせるしくみ？は作られつつある。定年の引き上げはなくとも、年金改悪とセットで再雇用制度は広がり、私の妻などもいったん60歳で定年退職し、再雇用制度で給料は下がっても働き続けている。ハローワークに行くと介護関係の求人があふれていて、送迎の運転手募集はいつも出ている。その高齢者も、身体能力などから働けなくなる日は近い。

そこで AI が注目されている。人間に代わって、AI が代替できる業務が拡大すれば労働力不足は解消される、という見通しだ。実際、大手銀行の多くは店舗の統廃合をすすめキャッシュサービスコーナーさえも縮小しようとしている。「AIvs 教科書が読めない子どもたち」(東洋経済新報社)によると、AI が人間の能力を超え、AI 自身がより能力の高い AI を作り出すという特異点(シンギュラリティ)はやって来ない、なぜならコンピュータは計算しかできないからだ。数式で統計、確率に置き換えることはできても、人間の認識や判断をおこなうことはできない。ならば、その人間でなければできない仕事をのばせばいいのだが、タイトルにあるように「教科書が読めない」、中高生の読解力、国語力が著しく低下している、という現状がある。実際、コミュニケーションがとれない若者が増えている。そこで、そうしたスキルを身につけている高齢者の出番だ。新しい世代の教育係として活用するのもいいかもしれない。企業は生産性の点からも AI に代替できる業務はどんどん AI を導入していこう。AI に代替できない人的サービスなど、高齢者と現役労働者をうまく組み合わせていけばよいと思うのだが。

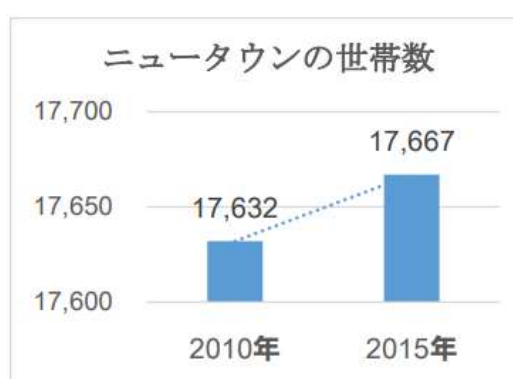
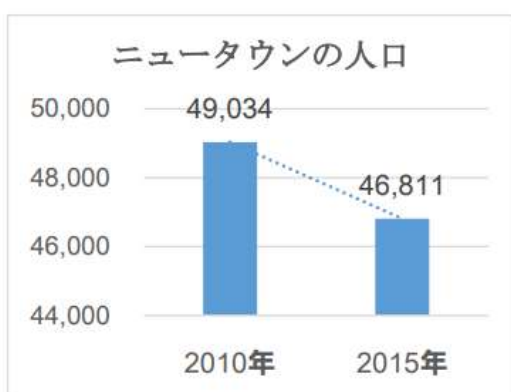
調べてみて驚いた！

ニュータウンはオールドタウンに~すすむ超高齢化 (2018.7)

川崎 環 (美賀多台)

5年に一度の国勢調査から、西神ニュータウンの人口がどう変化しているか、調べてみました。神戸市のホームページから、平成 22 年(2010 年)のデータと直近の平成 27 年(2015 年)のデータを比較してみました。ここで言うニュータウンとは、糀台、狩場台、榎野台、春日台、竹の台、美賀多台の6つのエリアの合計です。

人口は 2,223 人(▲4.5%)減少し、世帯数は 35(0.2%)増えた



5年間で人口は 49,034 人から 46,811 人へと 2,223 人減少(▲4.5%)し、世帯数は 17,632 から 17,667 へと 35 の微増(0.2%)となっています。このことは、子どもが進学・就職・結婚などで独立し、ニュータウンから出ていって、家そのまま残っている。あるいは高齢の祖父母が亡くなり、子どもだけの世帯になった。新規の転入など社会増、出産による自然増が少ないことを示しています。

65 歳以上の高齢者が 3,510 人増え、64 歳以下は 5,733 人減少 高齢者人口比率 17.0%から 25.3%へと上昇



高齢者の人口を見ると、65 歳以上が 8,346 人から 11,856 人へと 3,510 人増えている(増加率 42.1%)のに対し、64 歳以下は 40,688 人から 34,955 人へと 5,733 人減少(減少率 14.1%)となっています。

この結果、人口全体に占める高齢者の比率は 2010 年が 17.0%であったのに対し、5年間で 25.3%へと上昇しました。さらに3年近くが経過している現在、この比率はもっと上昇し、おそらく 30%を超えているものと思われます。ニュータウンは3人に1人が高齢者のオールドタウンになっている可能性が高いのです。

エリア別では狩場台の高齢化が著しく、春日台が比較的緩やか

ニュータウンの中のエリア別でみ

ると、総数では美賀多台が一番多く、狩場台が一番少ない。2010年と2015年との比較では、唯一春日台だけが増加になっており、他はすべて減少しています。そして、すべてのエリアで65歳以上の高齢者が増加し、64歳以下が減少しています。

	2010年	2015年	増加率	人口比率
樫野台	1,096	1,521	138.8%	20.8%
春日台	1,304	2,144	164.4%	24.6%
狩場台	1,134	1,715	151.2%	31.5%
鞆台	1,761	2,315	131.5%	27.8%
竹の台	1,638	2,188	133.6%	28.1%
美賀多台	1,413	1,973	139.6%	21.5%
合計	8,346	11,856	142.1%	25.3%

その中でも高齢者の占める割合が一番高いのが狩場台で31.5%、一番低いのが樫野台で20.8%、ニュータウン全体では25.3%と全国平均並みとなっています。65歳以上人口の増加率では、狩場台がトップで164.4%、続いて竹の台が151.2%、低い方は鞆台で131.5%ですがニュータウン全体では142.1%と、ほぼ1.5倍の増加率となっています。ニュータウンの中では狩場台で高齢化がすすんでおり、樫野台・美賀多台はまだ比較的緩やかといえるでしょう。さて、西神ニュータウンの人口について調べてみましたが、同じ沿線の西神南、学園都市はどうなっているのでしょうか？次は井吹台東町・西町・北町の合計と、学園東町・西町の合計で比較し、それぞれの特徴をみてみたいと思います。



感染症にくわしい専門家、だれを信用したらいい？ (2020.10)

川崎 環 (美賀多台)

今年2月以降、新型コロナウイルスの感染が広がっていく中で、ニュースやワイドショーに「感染症にくわしい」とされるさまざまな専門家が登場してきました。政府の専門家会議のメンバーを始め、大学教授から総合病院の院長・副院長、研究機関の研究者、臨床の内科医、海外で診療や研究に従事する医師などさまざまです。

もうかれこれ半年になるので、みなさんの中に「おなじみ」の専門家ができていらっしゃるのではないのでしょうか？ この「専門家」とよばれる人たちも SNS と同じで、自分の考え方や感性に合致するパーソナリティを自然に選択し、その見解や主張に同意します。メディアに至っては、番組制作の意図にかなう「専門家」を引っ張り出してきて、司会者が進行するストーリーに沿ったコメントを出させています。



ということで、私がふむふむと同意し、うなづく専門家は岩田健太郎、上昌弘、渋谷健司、広く言えば岡田晴恵、倉持仁なども含まれます。逆に、全く信用できないと感じるのは専門家会議のメンバーでクラスター班の押谷仁教授、尾見茂、よくわからないのが8割おじさんの北海道大学・西浦教授などです。

何を基準に信用する、しないを判断しているかといえば PCR 検査に対する態度です。今では厚生労働省も広く検査を進める方向に変わってきましたが、当初は検査体制がない、陽性者への対応ができない、医療崩壊を招きかねない、などの理由で制限され、一方で PCR 検査の信頼度(疑陽性、偽陰性の確率など)を問題にして 100%信頼できないからバンバンやるのはムダだ、という論調が流布されています。

しかし、素人が考えても「検査をせずに、どこに感染者がいるかもわからずに、対策ができるのか？」という疑問につきます。陽性が疑われる場合や発熱や症状に応じてという検査のみ(これすらもなかなかしてもらえなかった)では、広く市中感染していると思われる軽症者、無症状者を捕捉することができず、結局感染者を野放しにしてしまうのではないかと？

プロ野球やJリーグなどスポーツ選手がじゃんじゃん検査して陽性者がニュースになるのに、医療関係者、介護施設勤務者などリスクの高いエッセンシャルワーカーに、どうして PCR 検査してあげられないのでしょうか？ 一方で保健所業務がひっ迫して処理が追い付かない、という問題もあるのでしょうか、現在のような検査数しか行えないようなら、東京オリンピックは無理だと思えますが、みなさんはどう思われますか？

「あー、疲れた。早く飯食いてえ」

東京の都心からだいぶ離れたA市に、二人の若い営業社員が、サンプルが詰まった重いかばんを抱えながら、ため息をついてつぶやいた。同じようにかばんを抱えた相方の若者も「ほんと、疲れましたねえ」とこぼす。

二人は、東京都内の小さな出版社の営業社員だ。なかなか就職が決まらない中、とにかく正社員に、と二人ともこの春入社した。世間はどんどんデジタル化が進み、新型コロナウイルスの感染が危惧されるようになってからは学習塾も対面の教室が減り、オンライン授業が進んだ。教科書、参考書となるテキストも需要が縮み、売上は減少する一方だ。それでもこの出版社は「地方でIT化が進むのはまだまだ先だ」とあくまで紙ベースの普及を目指す。営業の車などなく、社員には公共交通機関での移動を強制している。

「もう暗くなってきましたよ。名刺もらえるところはもらったし、ひきあげませんか」

「そうするか。契約は取れなかったけど、一応名刺とサンプルはばらまいてきたからな」

歩き詰めで、口の周りがベタベタになったマスクを下げて鼻を出し、二人は重い足を引きずり歩いていく。

まだ残暑がきびしい九月末だが、朝夕は涼しくなってきた。午後六時を回るとすっかり陽は落ち、街灯も点き始める。都心からだいぶ離れたこの郊外の駅をめざしてとぼとぼ歩いていると、住宅街の中にポツンと看板を出している店があった。

「ビストロ小人？こんな住宅街の中に、レストランがあるのか？」

「メニューも出てますよ。飲食店の営業は八時までだから、ここで食っていきませんか？」

「そうだな、これから戻ればまたコンビニ弁当だ」

二人はそのビストロに入っていった。重い玄関の扉を開けると、次のような貼り紙があった。

『ご来店、誠にありがとうございます。まず、体温の測定をお願いいたします。ビストロ小人・店主』
小さな机の上には、非接触型の体温測定器ではなく、腋下実測式タイプの体温計が二個置いてあり、二〇秒計と書かれていた。

「めんどくさいけど、仕方ないか」と二人はそれぞれに体温を測ると、記入用紙があり、

『お名前をインシヤルで、体温を記入したらウェットティッシュで拭いて収納してください』とあった。さらにその横の机には個包装のマスクが置いてあり、『マスクは大丈夫ですか？ぜひ、当社が用意したサージカルマスクをお使いください』と添えられていた。

「不織布マスクの方が、効果があるとか言ってたな」とありがたくそのマスクを付けることにして次の扉を開けると中待合のようになっていて、メタルフレームの眼鏡をかけたインテリ風のボーイがやってきた。

「いらっしゃいませ。お二人様ですね。お荷物と上着は、そちらのロッカーの方をお願いします」

見ると、学校で見かけるような三×三のロッカーがあり、鍵もかけられるようになっている。二人は荷物を入れてボーイに続いて中に入っていった。客席に続く廊下に洗面台が二つつらえてある。

「ご面倒ですが、こちらでしっかり手洗いをお願いします。手洗いが済みましたら、ハンドジェルで手指消毒もお願いします。あわせてうがいもおこなって下さい。痰がからむようでしたら、しっかりノドをすすいでください」

小さな店なのに、感染対策が徹底している。ここのところ、また都内で新型コロナ感染者が増加しているので仕方がない。手洗い、うがいをしてやっと客席についた二人にメニューが渡された。カラー写真が並ぶメニューには、ファミレスと遜色ない料理が並んでいる。

「へえ、けっこうあるじゃん。オレはこのハンバーグプレートを」

「じゃあ、僕はこのグリルチキンプレート」

「かしこまりました。酒類の提供は午後七時半までとなっておりますが、いかがいたしましょう？」

「うーん、軽く一杯ならいいだろう」と瓶ビールを一本注文した。二人はすっかりくつろいでマスクをはずし、料理が運ばれて来るのを待った。

「どうですかね。今日回ったところで、注文が来そうなところ、ありますかね？」

「わからんなあ。小中学生の方がタブレットやスマホに慣れていて、オンラインとか全然抵抗ないだろうけど、教える側の方がなあ」などとビールを飲みながらぼそぼそと小声で話していると、料理が運ばれてきた。

ごく普通の料理のようだ。ハンバーグにはデミグラスソースがかけられ、レタスサラダ、フライドポテトが添えられてある。グリルチキンの方はブロッコリーサラダだ。腹ペコだった二人は黙々と食べた。そして、プラス百円で追加した食後のコーヒーをゆっくり味わっていると時刻はもう八時近くになっている。

「さて、そろそろ行くか」

「そうですね。早く帰りましょう」

と伝票を持ってレジに行き、支払いを済ませると先ほどのボーイが二人の行く手を遮るように立ち上がり、神妙な面持ちで話した。

「本日はご利用誠にありがとうございました。当店からお客様に重要なお知らせがございます」

と無機質な声で、無表情に話し始めたたかだか飯を食っただけなのに、この大げさなものの言いようは何なんだ？といぶかしく思っていると、二人にそれぞれ小さな紙片が渡された。

「これは先ほど、お客様にうがいをしていただいたときに採取したサンプルから検査をおこなったものでございます。その結果、お二人とも新型コロナウイルス陽性という判定が出たのでございます」

二人はぼかんと口を開け、互いの顔を見合わせた。「ご存じのように、この新型ウイルスは潜伏期間が長く、感染していても無症状のまま数日から一週間くらい経過してしまいます。当店は東京都のモニタリング調査協力機関としてご来店者様の検査を無料でおこなっているの
でございます」

「ちょ、ちょっと待ってくれよ。それなら俺たちはこれからどうなるんだ？」

「ご心配なく。発見された無症状の方には、都の指定するホテルで最低一週間の隔離生活に入らせていただきます。一日おきにPCR検査を受けていただいて、三回連続陰性となれば、お帰りいただくことができます。食事も提供されますので快適に過ごしていただけます」

「そ、それでいつからそのホテルに入らなきゃならないんだ？」

「ご安心ください。当店の前に送迎専用のリムジンが手配済みでございます。お二人には、直ちにこれからホテルへ移動していただきます」

なんてこった……。空腹が満たされた幸せな気分は吹き飛んでしまった。おまけに家族や会社にはどう説明すればいいんだ？そんな不安が顔に現れたのか、ボーイはさらに説明を続ける。

「お客様の勤務先には、東京都の方から連絡が行くようになっております。休業補償につきましても、国ならびに都の方から責任を持って対処することとなっております」

こう言って、検査からその後の療養に至るまでの説明パンフレットが手渡された。二人はロッカーから荷物を取り出すと、まずスマホで家族あてにメールを送った。

「お仕事のお荷物は、まとめておいていただければこちらからお送りします。個人の荷物だけお持ちください」

二人は観念した様子で、小さなかばんを持って店の外に出た。なるほど、そこには黒塗りの立派なワゴン車が停まっていた。乗り込む前に二人はこのレストランを振り返った。

そして看板にある「ビストロ小人」の文字をしげしげと見つめた。そこには小人という漢字の上に covid とアルファベットが振られていたのだった。

(原稿用紙八枚)

忘れ物が返ってくるニッポン (2023.12)

川崎 環 (美賀多台)

10月に、とある全国集会で長野県の戸倉上山田温泉に行ったときのことで、1泊2日の予定を終え、神戸に帰る電車で「忘れ物」をしてしまいました。

篠ノ井駅から特急しなのに乗車、その時デジタルカメラを前席の背中のポケットに入れたのですが、松本で多くの客が下車したので席を変えたときにそのままにしていました。そして名古屋で新幹線に乗り換え、まもなく新神戸という頃、カメラを忘れていることに気づき愕然。それからスマホで検索して、JR東海の忘れ物問い合わせフォームで送信したのが午後10時頃。すると11時30分頃、それらしい忘れ物がありました、と返信のメール。あす以後、担当者よりお電話差し上げます、とのこと。午後8時過ぎに特急しなの名古屋に到着、車内清掃で忘れ物と発見され、3時間でたどり着いた。

そして翌日の昼過ぎ電話があり、カメラの特徴など伝え、着払いの宅配便で送ってもらえることに。さらに翌日、カメラはしっかりプチプチで梱包され、リポリビタンDの箱でクロネコヤマト

が届けてくれました。わずか2日でのご帰還。ちなみに、着払い料金は940円でした。メール1本と電話1本で24時間以内の忘れ物解決、素晴らしい！すごいぞJR東海！

カメラがない、と電車に忘れたことに気づいたときは慌てましたが、すぐにメールで問い合わせ。この初動が大切だと実感した次第です。

海外旅行の経験はあまりありませんが、忘れ物が返ってくるなんておそらく日本だけかと。モノがあふれていて、ほぼ生活に不自由のない国だからこそ、などと考えてしまいました



落とし小銭入れが奇跡の生還、今度は自力で（2024.3）

川崎 環（美賀多台）

昨年の10月、長野からの帰り、JRの特急しなのにデジタルカメラを忘れてしまったけれど、ホームページの忘れ物問い合わせフォームから問い合わせをして、わずか2日で返ってきたという、得がたい経験をしたお話を書きましたが、今度は落とし物です。

2月に入ってすぐ、ちょっとした印刷でポートアイランドにあるかつての職場へ。終わって事務所を出たところで、USB 忘れてないか小銭入れをチェック。そこからウチの近くの西神中央・スーパー万代まで、メチャ寒いけどバイク飛ばした。店内に入って暖まろうとポケットに手を入れ、小銭入れがないことに気がつく。どこで落とした？愕然とする。家のカギだけでなく、ハンコや USB、ピックも入ってる。どうしよう？失意のなか、家に帰って肉野菜煮込みうどんを作って食べ、フィットネスジムのコスパに。サウナにも入りシャキッとしたところで、「このままではいかん」と検索に立ち上がる。やはり最後に確認した、事務所を出てすぐのところでポロリと落としたのではないかと？時刻は午後11時近く、ひと気のないポーアイで、事務所を出たコースをなぞり、クルマを低速で走らせながら、道路左側に目を凝らす。すると500mほど行ったあたりに、黒っぽい小さな塊。もしや、とクルマを降りて確認すると、まさにオレの小銭入れ！ひゃー、こんなことあるんですな。というわけで、無事回収のヨロコビに浸り、ファミレスでお食事して一息つく。去年、電車にカメラ忘れた時もそうだったけど、失せ物、忘れ物は初動が大事。記憶が新しいうちにダメ元で立ち上がる、が今回も教訓となりました。

しかし、どこで落としたかもわからない「落とし物」に、この辺とちゃうか？とアタリをつけ、ほんとうに見つかるとはなんてラッキー！

